

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

| | | |
|--------|-------------------------|--|
| 建物名称 | 新潟県赤十字血液センター建設工事 | |
| 建設地 | 新潟県新潟市中央区美咲町一丁目664番地701 | |
| 用途地域 | 工業地域 | |
| 建物用途 | 事務所 | |
| 竣工年 | 2020年2月 竣工 | |
| 敷地面積 | 9,815.32 m ² | |
| 建築面積 | 1,573.70 m ² | |
| 延床面積 | 2,641.51 m ² | |
| 階数 | 地上2F | |
| 構造 | S造 | |
| 評価の段階 | 実施設計段階評価 | |
| 評価の実施日 | 2019年1月15日 | |

2. CASBEE新潟の評価結果

| | | |
|---|----|--|
| | B+ | $BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{46.1}{44.9} = 1.0$ |
| S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ | | |

3. 新潟市の重点項目の評価

| 項目 | 平均スコア | 評価 | 項目 | スコア |
|---|-------|----|-------------------|-----|
| 1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために | 3.8 | | バリアフリー計画 | 5.0 |
| | | | 維持管理 | 3.5 |
| | | | 設備の更新性 | 3.0 |
| 2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために | 3.3 | | 耐震・免震・制震・制振 | 3.8 |
| | | | 信頼性 | 2.8 |
| 3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために | 2.0 | | 雨水排水負荷低減 | 2.0 |
| 4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために | 4.0 | | 建物外皮の熱負荷抑制 | 5.0 |
| | | | 自然エネルギー利用 | 3.0 |
| 5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために | 4.3 | | 節水 | 4.0 |
| | | | 躯体材料以外でのリサイクル材の使用 | 4.0 |
| | | | 部材の再利用可能性向上への取組み | 5.0 |
| 6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために | 1.5 | | 生物環境の保全と創出 | 1.0 |
| | | | 敷地内温熱環境の向上 | 2.0 |
| 7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために | 2.5 | | まちなみ・景観への配慮 | 3.0 |
| | | | 地域性への配慮、快適性の向上 | 2.0 |

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- ・バリアフリー計画は建築物移動等円滑化誘導基準を満たしている。
- ・耐震性は重要度係数1.25を満たしている。
- ・BPI_m=0.57と建物の熱負荷抑制に配慮している。
- ・自動水栓に加え、節水型便器の採用をしている。
- ・リサイクル材を活用している。

CASBEE[®]新潟

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築) 2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-------------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | 新潟県赤十字血液センター建設工事 | 階数 | 地上2F |
| 建設地 | 新潟県新潟市中央区美咲町一丁目664番地701 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 工業地域 | 平均居住人員 | 318 人 |
| 地域区分 | 5地域 | 年間使用時間 | 4,380 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 事務所 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2020年2月 竣工 | 評価の実施日 | 2019年1月15日 |
| 敷地面積 | 9,815 m ² | 作成者 | (株)エネ・グリーン |
| 建築面積 | 1,574 m ² | 確認日 | 2019年1月16日 |
| 延床面積 | 2,642 m ² | 確認者 | (株)エネ・グリーン |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|---|---|
| 総合 ・室内環境、サービス性能に配慮。 ・敷地内外環境への配慮。 ・エネルギー、資源、マテリアルの確保に努めている。 | | その他 0 |
| Q1 室内環境 ・高い外皮性能を確保。・執務室は500lx以上の照度を確保。 ・使用建築材料は全てF☆☆☆☆材料を使用。・全館禁煙。 | Q2 サービス性能 ・建築物移動等円滑化誘導基準を満たしている。・天井高さを確保し、広さ感に配慮。・掃除流し設置等、建物の維持管理に配慮。・耐震性に配慮。・耐用年数の長い部品、部材を採用。・壁長さ比率に配慮し、空間のゆとりを配 | Q3 室外環境(敷地内) ・緑地、中、高木を設置。 ・景観に配慮。 |
| LR1 エネルギー ・BPI _m =0.57とし、建物の熱負荷抑制に努めている。 ・中央監視システムにより計測、妥当性が確認できる。 | LR2 資源・マテリアル ・自動水栓に加え、節水型便器の採用に努めている。 ・リサイクル材の活用を努めている。 ・防水工事のプライマー等、化学物質の使用削減に努めている。 | LR3 敷地外環境 ・省エネルギー性能を高め、LCCO ₂ 排出率を96%としている。 ・駐輪場、駐車場、作業用駐車場を多数設置し、交通負荷抑制に努めている。 |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される